

「子どもたちのために、がんばって働いてきました。全員の雇用を守ってください！」と門真市役所前で訴える「スマイル」の仲間

使い捨ては許しません！



すべての非正規職員の雇用確保を！

公務公共一般労働組合
門真市アルバイト分会「スマイル」

門真市に7園ある市立保育所のうち4園が来年4月から民営化されることになり、アルバイト・パート約130人の雇用が脅かされています。「私たちは使い捨てではありません！門真市の保育業務に一所懸命貢献してきました。仕事が無くなった生活保護を申請しなければならない人もいます。当局は雇用の確保に責任を果たして下さい！」と訴えるアルバイト分会「スマイル」。一人も路頭に迷わせないために、多くのみなさんの支援を訴えます。

松原市民病院をつぶすな！

大阪自治労連も、連日支援行動

市民の声も聞かず一方的に、松原市民病院を来年3月末で廃院にしようとする松原市当局に対して、多くの市民が怒りの声をあげています。「廃院方針を撤回せよ！」「市民のために病院機能の充実を」と、大阪自治労連は松原市職労の仲間とともに連日、宣伝・署名など支援行動に立ち上がっています。



市役所前で怒りの決起集会（11月28日）



おおさか自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合) 2008年12月15日 No.239

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15大阪グリーン
会館4F ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人/谷 真琴 編集人/久保 貴裕
平成2年9月12日第3種郵便物認可
毎月15日発行(1部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

消費生活専門相談員(交野市)

大久保 育子さん



毎日、市民からの電話相談にも応じています。「支払ったお金が、業者から返ってきました！」と、相談者からうれしい知らせが届くことも

相談の内容は
年々複雑化

「相談員には、日々自己研鑽が求められます」
交野市役所で消費生活専門相談員として働いて16年。携帯電話サイトの利用料や外国語学校、エステ、美容整形、リフォーム、占いなど、多種多様なトラブルに関する相談が増えています。「貧困と格差」が広がるもとで多重債務者に陥った人からの相談も後を絶ちません。相手側の事業者と面談したり、消費者と事業者の間に入って解決に向けた「あっせん」もします。

事後的な救済
だけでは限界も

相談員の人数は増えていますが、一方で消費者行政を担当する市の職員は減っています。「担当した市の職員は『こんなに市民に頼りにされ、感謝される部署があったなんて』と言われます。でも他の業務と兼務していて消費者行政に専任できる職員がいません」
悪質商法でねらわれる高齢者や、保護が必要な多重債務者に対応するためには、福祉や警察など他の行政部局との連携が必要となります。問題が起こって



相談を受けた内容は、逐次要点をまとめ、データベース化

から事後的に救済するだけでなく、未然に防止するための施策も自治体には求められます。毎日の相談業務を通じて消費者行政の大切さを感じながら、なかなか現場の意見が行政に反映されないことに、多くの相談員が歯がゆい思いをしているといいます。

「消費者も『なんでやねん?』と業者に突っ込み入れられるようになってほしい」と大久保さん。地域や、小学校、大学にも出かけて「賢い消費者」になるための講義もしています。

若い人が
めざせる職業に

大久保さんの息子さんは小学生の頃、学校の先生に「お母さんの仕事は口ゲンカです」と言っていたそうです。「いまは大学生。消費生活相談員に興味を持っていて、私の仕事について、いろいろと聞いてくるようになりました。うれしい反面、『とても生活できる給料じゃないよ...』と言わなければならぬのが心苦しいです。若い人が自分の職業として、めざせる仕事にしたいです」
自治体で働く消費生活相談員は全国で約3500人いると言われています。社会的にも注目されている職業なのに身分は非正規労働者。年収200万円台でワーキングプア状態の相談員も少なくありません。消費者を守って最前線で働く相談員が、安心して働けるように労働条件を改善させることが求められています。

リスクの大きな仕事...でも 相談者の被害を救済できた時に 喜びと充実感があります